

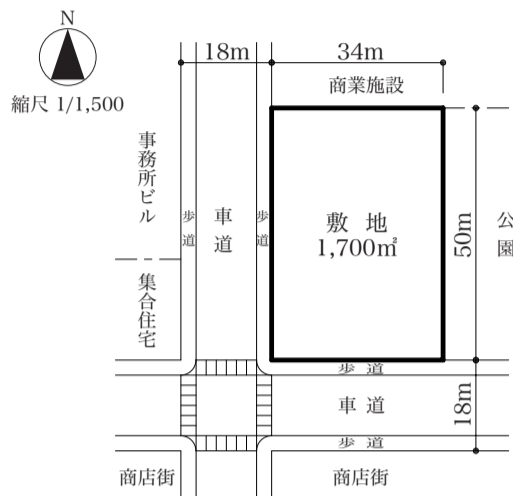
# 対策課題10 宿泊施設のあるスポーツクラブ

## I. 設計条件

この課題は、ある地方都市の市街地にある公園の一角に、さまざまな世代のバレーボールチーム間の交流と地域住民の健康増進を目的としたクラブハウスを計画するものである。なお施設には、選手・コーチのための宿泊施設を併設し、レストラン、会議室、アスレチックジムについては地域住民、サポーター等の利用もできるものとする。

### 1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- (2) 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- (3) 敷地は、近隣商業地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は90%（特定行政庁が指定した角地における加算を含む。）、容積率の限度は200%である。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- (6) 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



### 2. 建築物

- (1) 構造、階数等  
構造種別は自由とし、地下1階〔主な機械室及び防災備蓄倉庫等、計約250㎡がある。〕、地上2階建ての1棟の建築物とする。
- (2) 床面積の合計  
地下1階及び塔屋を除く床面積の合計は、1,800㎡以上、2,200㎡以下とする。この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- (3) 要求室  
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
・主出入口を道路側、副出入口を公園側に設け、公園側からもアプローチできるものとする。 ・宿泊部門の各室は男性チームと女性チームが期間を分けて短期合宿等に利用する。			
スポーツ部門	屋内バレーボールコート	・1階に設け、コート(18m×9m)四周に3m以上のフリーゾーンを確保し、その範囲は天井高さ8m以上の無柱空間とする。 ・観客席(固定式の段床形式とする。)を100席以上、調整室及び器具倉庫(面積適宜)、対戦する2つのチームに配慮したチームゾーン(各約25㎡)及び更衣室(各約15㎡)を設ける。	適宜
	アスレチックジム	・地域住民も利用できるものとし、天井の高さは3m以上、開口から屋内バレーボールコートを見渡すことができる。 ・トレーナーコーナー(受付カウンターを兼ねる。)、男女各更衣室、器具倉庫を設ける。	計約160㎡
宿泊部門	宿泊室A(和室・10畳)	・5室計画する。 ・洗面台及び便所を設ける。 ・押入れ、物入れ等を設ける。	適宜
	宿泊室B(洋室・2人室)	・シングルベッドを2つ設ける。 ・談話コーナー(テーブル、椅子)を設ける。 ・浴室、洗面台、便所、ミニキッチン、物入れを設ける。	
	食堂	・25人程度が利用できるようにテーブル、椅子等を設け、天井高さは3m以上とする。 ・食事はレストランの厨房で調理し、運搬に配慮する。 ・必要に応じて、パントリーを設けてもよい。	
	浴室	・5人程度が入浴できるものとし、脱衣室を設ける。 ・眺望に配慮する。	
共用・管理部門	グッズショップ	・チーム関連のグッズ、スポーツ用品等を販売する。	約20㎡
	エントランスホール	・まとまったスペースの吹抜け(約100㎡)を設けるとともに、開放階段を接続させる。 ・吹抜け部分には梁を設けない構造計画とする。 ・風除室及びロッカーコーナーを設ける。	適宜
	レストラン	・来場者及び公園利用者も立ち寄れるものとする。 ・40人程度が利用できるようにテーブル、椅子等を設ける。 ・天井高さは3m以上とする。 ・厨房を設ける。	
	休憩コーナー	・20人程度が利用できるようにテーブル、椅子、自販機等を設ける。	
	会議室	・20人程度が対面して利用できるようにテーブル、椅子等を設ける。 ・職員会議、チーム作戦会議の他、地域住民の利用もできるものとする。	
	職員更衣室	・男性用、女性用をそれぞれ1室設ける。	
	事務室	・4人分の執務スペースを確保する。 ・受付カウンターを設ける。	
設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。		
・便所及び倉庫(リネン庫、ごみ置場を含む。)については、適切に計画する。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

### 3. その他の施設等

- (1) 駐車場は、車椅子利用者として1台分、サービス用として1台分を地上に設ける。また、来館者用及び職員用の駐車場については、公園の公共駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- (2) 自転車置場は、利用者用として10台分を設ける。
- (3) (1)及び(2)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

### 4. 計画に当たっての留意事項

- (1) 建築計画については、次の点に留意して計画する。
  - ① 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
  - ② スポーツ部門、宿泊部門及び共用・管理部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
  - ③ 観客席からの視界に配慮し、観戦しやすいように計画する。
  - ④ 敷地の周辺環境に配慮する。
  - ⑤ 自然採光及び自然通風を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射の遮蔽にも配慮する。
- (2) 構造計画については、次の点に留意して計画する。
  - ① 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
  - ② 無柱空間の配置・規模に配慮し、構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
  - ③ 耐震性に配慮し、必要に応じて、耐力壁等を設ける。
  - ④ 部材の断面寸法を適切に計画する。
- (3) 設備計画については、次の点に留意して計画する。
  - ① 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設けるとともに、環境負荷低減に配慮する。なお、屋内バレーボールコートについては単一ダクト方式とする。
  - ② エレベーター等を適切に設ける。

## II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

### 1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。なお、各図面には、計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示してもよい。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(スパン割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等(宿泊室Aについては、A1、A2～A5とする。)及び要求室の面積 ハ. 採用した構造種別、架構形式及びスパン割りに応じて必要となる構造要素(必要により、凡例の空欄に名称・記号を記入し、図示する。) ニ. 設備シャフト〔パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)〕の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に点線にて図示する。) ヘ. 断面図の切断位置 ト. 代表的宿泊室A及び宿泊室Bの室内プラン チ. 要求室の特記事項に記載されている什器等 ② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 駐車場(サービス用駐車場及び車椅子利用者用駐車場) ハ. 駐輪場(台数を明示する。) ニ. ドライエリアの位置 ホ. 地下1階部分(点線で図示する。)及び面積 ヘ. 通路、植栽等 ③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 1階の屋根、ひさし等となる部分 ロ. 吹抜けの位置及び面積 ハ. 居室の最も遠い位置から直通階段の一に至る歩行距離及び経路
(2) 2階平面図 1/200	
(3) 断面図 1/200	① 切断位置は、屋内バレーボールコートを含む南北方向とし、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ③ 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。
(4) 2階梁伏図 1/200	① 2階からの見下げ図とし、主要な大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号・部材・断面寸法を追加記入する。

### 2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

地上1階及び2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

### 3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- (1) 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - ① ゾーニング計画及び内部動線計画について工夫したこと
  - ② アスレチックジム、会議室、レストラン及び浴室について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
  - ③ 観客席の計画において、試合を観戦する際、見やすいように工夫したこと
- (2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - ① 建築物に採用した構造種別、架構形式を示すとともに、設定した目標耐震性能(地震力の程度と建築物の状態)を記述すること
  - ② 屋内バレーボールコート部分の構造計画について配慮したこと
- (3) 設備計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - ① エントランスホールに採用した空調方式と採用した理由
  - ② 浴室に採用した給湯方式及び熱源方式と採用した理由
  - ③ 地下1階の機械室に設置した主要な設備機械とそれらを採用した理由

試験場	受験番号	氏名